

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-81582(P2007-81582A)

【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2005-264433(P2005-264433)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/907 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/907 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月9日(2008.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を撮像し、画像データを取得する撮像手段と、
前記画像データを記憶媒体に記録する記録手段と、
外部装置と通信するための通信手段と、
前記撮像手段による撮像後、前記画像データを所定時間表示する表示手段と、
前記表示手段に前記画像データを表示中に、当該画像データの消去を指示する指示手段と、

前記指示手段により消去の指示がされた場合に、前記画像データを消去する消去手段と

、

制御手段とを有し、

前記制御手段は、

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信とが並行して行われている場合に、前記指示手段を無効化し、

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方が行われている場合に、前記指示手段を有効化することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方を行うか、両方を並行して行うかを選択する選択手段を更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記記憶媒体の状態を判断する手段と、

前記外部装置との通信状態を判断する手段と、

前記記憶媒体の状態及び前記通信状態に基づいて、前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方を行うか、両方を並行して行うかを決定する決定手段と

を更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記撮像手段により取得した画像データを保存する一時記憶手段を更に有し、

前記消去手段は、前記一時記憶手段及び前記記録手段から、前記画像データを消去することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

被写体を撮像し、画像データを取得する撮像手段と、前記画像データを記憶媒体に記録する記録手段と、外部装置と通信するための通信手段と、前記撮像手段による撮像後、前記画像データを所定時間表示する表示手段と、前記表示手段に前記画像データを表示中に、当該画像データの消去を指示する指示手段と、前記指示手段により消去の指示がされた場合に、前記画像データを消去する消去手段とを有する撮像装置の制御方法であって、

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信とが並行して行われている場合に、前記指示手段を無効化する工程と、

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方が行われている場合に、前記指示手段を有効化する工程と

を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 6】

前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方を行うか、両方を並行して行うかを選択する工程を更に有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 7】

前記記憶媒体の状態を判断する工程と、

前記外部装置との通信状態を判断する工程と、

前記記憶媒体の状態及び前記通信状態に基づいて、前記記録手段による前記記憶媒体への前記画像データの記録と、前記通信手段による前記外部装置への前記画像データの送信のいずれか一方を行うか、両方を並行して行うかを決定する工程と

を更に有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 8】

前記撮像装置は、前記撮像手段により取得した画像データを保存する一時記憶手段を更に有し、前記消去手段は、前記一時記憶手段及び前記記録手段から、前記画像データを消去することを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置の制御方法。